

安倍内閣

介護保険
負担増狙う

厚生労働省は16日、社会保障審議会介護保険部会に介護保険の負担増を進めるとりまとめ案を示しました。政府は2021年度からの実施をねらっています。消費税増税とあわせ、年金の目減り、医療の改悪などとセットになり、高齢者のくらしを直撃します。

介護保険では、低所得者に配慮して特別養護老人ホームなどの施設利用者に食費や居住費を補助しています。住民税非課税世帯で預貯金などの資産が1000万円以下の方が対象です。厚労省案では、これを見直し、現在3段階の収入区分を4段階にしようとしています。年金収入が120万円超の利用者(多床室)の場合、自己負担が月2万20

厚労省が見直しプラン示す

低所得の施設入居者 月2万2000円増

施設入所 食費など補助を縮小

2021年度値上げ見込む

00円増え5万3000円に。月10万円余の年金収入の大半が消えてしまいます。対象者は最大30万人に上るとみられています。

1割～3割負担に

月の介護サービス費が上限を超えた分が払い戻される「高額介護サービス費」については、年収383万円以上の「現役並所得」の利用者の収入区分を、医療保険の負担限度額と同じ3段階に見直す方針で、収入に応じて1～3割を自己負担する仕組みになります。現在の月4万4400円の上限を、年収約770万円以上の世帯は9万3000円、約1160万円以上は14万0100円に引き上げます。



日本共産党の澤村純子市議が、9日の八幡市議会本会議で一般質問しました。

澤村市議は、石清水八幡宮駅～八幡市役所～美濃山・欽明台～松井山手駅を結ぶ公共バス路線の開設と、地域に密着したコミ

公共バス

コミバス

高齢者
子育てに配慮 バス交通充実を

ュニティバスの拡充を求めました。

これに対し八幡市は、「住民のニーズや高齢化への対応、バス会社の人手不足などをふまえ検討していく課題」とのべ、市民、専門家を交えた地域公共交通会議で議論していく考えを表明しました。市民の声をさらに広げ、バス交通を充実しましょう。

市…公共交通会議で検討する